

平成22年度京都大学エネルギー理工学研究所
第2回ヘリオトロンJ双方向型共同研究委員会議事録

日時：平成23年2月4日（金）午後3時～5時

場所：エネルギー理工学研究所 北4号棟4階 小会議室

出席者：武藤、政宗、岡村、西野、中嶋、村上、佐野、水内、長崎、岡田

欠席者：福田、北島

議事に先立ち、配布資料の確認が行われた。

議事

1. 平成22年度第1回ヘリオトロンJ双方向型共同研究委員会議事録案について
一部誤字修正の上、異議なく了承された。

2. 平成23年度 双方向型共同研究課題の審査

佐野副委員長により、資料2の審査スケジュールが確認された。また、NIFSの双方向委員会での議論について紹介され、来年度の予算見込みが示された。

その後、武藤委員長より資料3の23年度申請書がそれぞれ提示され、各課題について審査がなされた。

西野、岡田幹事により、各研究課題、採点結果、評価コメント、NIFSの評価が紹介され、各申請額に対しての査定案が述べられた。初めに、予算削減を踏まえ例年の実績を基に、昨年額より緊縮気味に作成したとの説明があった。

また、各申請者には研究課題に対する本委員会に於いての議論の内容を、まとめて別途報告することが承知された。

個々の課題に対する審議を行い意見交換の結果、申請課題は全て採択され、審査案が了承された。

次に、岡田幹事より来年度の発表候補者（案）として、佐野、北島、東井、門各氏4名を推薦することが了承された。

3. 平成23年度実験計画について

岡田幹事により、今年度末のYAGレーザートムソン設置工事のため1月に実験終了したこと、例年の定期点検は予算の関係で早期に終了する等の予定についても報告された。6月以降の実験計画は設置工事の進捗状況により立てられる為、現段階では決定されていないことが説明された。

4. その他

- ・ 学生状況について

進学者数の増減、卒業後の進路状況の現状と意見が述べられた。

以上